(表)

様式第1号(その1)

困窮事項申告書

　申込者の住宅は、下欄のどの項目に該当しますか。

　該当する符号を○でかこんで下さい。

1　居住状況について

|  |  |
| --- | --- |
| ア | 雨漏れ等の日常生活に支障をきたす住宅 |
| イ | 使用材料が粗悪で応急的な仮設住宅 |
| ウ | 倉庫、物置等の転用住宅 |
| エ | 上記のいずれにも該当しない。 |

2　設備状況について

|  |  |
| --- | --- |
| ア | 上水道等がない。 |
| イ | 便所が共用である。 |
| ウ | 便所が非水洗である。 |
| エ | 上記のいずれにも該当しない。 |

3　過密住宅状況について

|  |  |
| --- | --- |
| ア | 8畳1間のワンルーム　　　　　0.45未満 |
| イ | 6畳、4.5畳のアパート 　　　　0.45以上0.60未満 |
| ウ | 6畳、4.5畳2間のアパート　　　0.60以上 |
| エ | 上記のいずれにも該当しない。 |

※規模係数＝住宅の床面積を65m2で除した数値

4　住宅がないことによる家族との別居、また他の世帯との同居状況について

|  |  |
| --- | --- |
| ア | 妻、夫または子と別居、もしくは扶養を要する親または弟妹と別居している。 |
| イ | 婚約が成立しているが結婚できない。 |
| ウ | 親族以外の世帯と同居して著しく生活の不便を受けている。 |
| エ | 親族の世帯と同居している。 |
| オ | 上記のいずれにも該当しない。 |

5　立退き請求状況について(明渡しを請求されていることについて)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ア | オ以外で立退き調停の成立により明渡しが決定済。 | 年　　月　　日 |
| イ | 定年退職、会社解散等自己の都合以外の理由により社宅等から立退くことが必要である。 |
| ウ | オ以外で立退き問題につき裁判等係争中。 |
| エ | 上記のいずれにも該当しない。 |
| オ | 滞納等のため立退き要求されている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 裁判のあった日または和解調停の成立した日 | 年　　月　　日 |
| 会社等所在地 | 　 |
| 会社等の名称 | 　 |
| 定年退職、会社解散等の年月日 | 年　　月　　日 |
| 管轄裁判所名 | 裁判所 |
| 立退要求の内容 | 　 |
| 上記に対してとろうとしている処置 | 　 |

(裏)

6　遠距離通勤について

|  |  |
| --- | --- |
| ア | 通常の通勤方法による片道の通勤時間が2時間以上である。 |
| イ | 通常の通勤方法による片道の通勤時間が1時間以上2時間未満である。 |
| ウ | 通常の通勤方法による片道の通勤時間が30分以上1時間未満である。 |
| エ | 片道の通勤時間が30分未満である。 |
| オ | 上記のいずれにも該当しない。 |

7　家賃状況について(収入に占める家賃の割合)

|  |  |
| --- | --- |
| ア | 30％以上 |
| イ | 25％以上30％未満 |
| ウ | 20％以上25％未満 |
| エ | 10％以上20％未満 |
| オ | 10％未満 |

8　障害等の事情(障害者手帳等の写しを添付)

　　申込者及びその親族にいる場合は下欄に記入してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 年齢 | 職業 | 障害名 | 手帳番号 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |

9　特殊事情等(該当する場合記入してください。)

|  |
| --- |
| 　 |
| 　 |

誓約書

1　この申込書に記入した事項は、すべて事実に相違ないことを誓約します。

2　この申込書の記載内容に偽りのある場合は、申込の無効処分、入居決定の取消処分及び許可後においては住宅(駐車場)を明渡すことに異議ありません。

　　　　　年　　　月　　　日

住所

氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印